

除夜元旦会・茶話会・御正忌報恩講 ご報告、永代経法要・春期彼岸会・茶話会・総会 ご案内

夕方、時計を見て驚くことが増えました。窓の外はまだ明るいのに、時間だけが先に行ってしまう、早く早く、と急ぎ立てているかのようなのです。そう思って外へ出ると、梅の花が咲き始めていました。

年末、明行寺では、草刈りとお磨きが行われました。素早く、力強く、手慣れたみなさまのお蔭様で境内も本堂も整い、無事新年を迎えられましたこと、改めて御礼申し上げます。毎年行っている竹灯笼作りには諸縁の方々が多くご参加くださり、大晦日を彩る灯りの準備に力を貸してくださいました。除夜会本番には、瓢箪ランプをお飾りした本堂でのお勤め、ご法話に、たくさんのお参りがございました。この夜の動画をYouTubeにアップしております。裏面右下のQRコードからぜひご覧くださいませ。昨年最後の茶話会では若坊守による発声練習と合唱の会を行い、心も身体も温まる耳福の時間をご一緒させていただきました。尚、御正忌報恩講につきまして、裏面に詳細をレポートしております。

さて、令和3年度も残すところ2ヶ月です。2月の茶話会では、永代経法要のご講師である山鹿組常法寺の佐々木高彰先生による節談説法のDVD観賞・お聴聞会を予定しております。尚、永代経法要にご参拝予定の方は、前日までにお寺までお申し込みくだされば幸いです。可能な限り密を避けるべく、ご準備して参ります（お斎は行いません）。また、3月の春季彼岸会には山口県宇部市安楽寺の金安一樹先生（住職の同窓生）のお話をお聴聞いたします。その他、第8回茶話会は、住職による笙の演奏会（お話つき）を実施予定です。最後に、年度末の各種役員会、門徒総会では、またみなさまのお力添えを賜ります。本年度の総括と来期に向けての準備を怠らず、精進して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。 合掌



寒い中のお力添えに感謝



みんなで磨くと早いこと！



除夜会の本堂



茶話会に響く美しい歌声



竹灯笼用の切り出しも



今年も竹灯笼たくさん！



瓢箪ランプワークショップ



熊本でお念珠作りのご縁

2～3月の予定（新型コロナウイルスの影響を鑑みて以下の通りと致します）

- 【実施】 2月14日（月） 15時～ 釋昭思三回忌法要 @明行寺 ＊親族で厳修の予定
- 【実施】 2月16日（水） 14～17時 茶話会「第7回 喫茶去明行寺」@明行寺 ＊お申込みは、～2月13日（日）まで
- 【実施】 2月17日（木） 13時半～ 永代経法要 @明行寺 ＊昼座のみ時間を短縮してお勤めする予定、事前申込制、定員25名
- 【実施】 2月28日（月） 12時半～ 婦人会役員会議 @明行寺 ＊令和3年度役員・アドバイザー方が対象
- 【中止】 3月1・2日（火・水） 口ウソク講追悼法要 @西教寺 ＊各寺の住職のみで厳修予定
- 【実施】 3月17日（木） 12時～ 婦人会費収納 @明行寺 ＊婦人会総会は文書審議予定
13時半～ 春季彼岸会 @明行寺 ＊時間を短縮してお勤めする予定
- 【実施】 3月20日（日） 14～17時 茶話会「第8回 喫茶去明行寺」@明行寺 ＊お申込みは、～3月17日（木）まで
- 【実施】 3月24日（木） 13時半～ 門徒会役員会議 @明行寺
- 【実施】 3月29日（火） 15時～ 門徒総会 @明行寺 ＊令和3年度役員・講中方が対象

< 2年ぶりにお勤め... 「御正忌報恩講」 レポート >

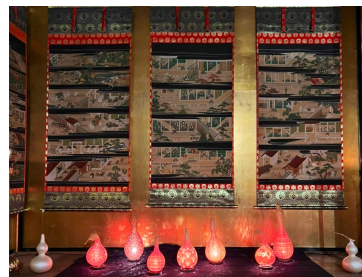
南無阿弥陀仏のみ教えを今に伝えてくださる親鸞聖人。そのご生涯を仰ぎ見ながら、この世にある私たちにお念仏が届いてくださることに感謝し、聖人の御命日にお勤めする御正忌報恩講（今年は聖人の760回忌）。役員・講中・婦人会・ご門徒みなさま方のお力添えにより、2年ぶりのお勤めができませんでした。お忙しく心配事も多い中ご助力賜りましたこと、改めて御礼申し上げます。13日にはお餅つきと御華束作り、竹藪清掃、御鉢米料の確認、15日には仏旗を掲げ、16日には御華束の解体とお下がりの配布、その他受付や駐車場整備、何よりお土産のちらし寿司のご準備等々、本当に本当に多くの方々の手とお心遣いによって支えられているご法要です。また、手勤めによるご法話で、普段身近にお世話になっている方々を前にしたお取り次ぎとなり、いつも以上に緊張した住職にとっても、新鮮なご縁となりました。松尾眞吾会長がくださったご満座のご挨拶では、前回、前住職と最後にお勤めしたときのお話もあり、時の流れ、変わるものと変わらないものを感じながら「如実知見（あるがままにものごとを見よ）」の文字が心に浮かび、お念仏と共に手の合わさる、有難い御正忌報恩講となりました。



講中・婦人会みんなで着色



苦戦しながらの仏旗掲揚



御絵伝四幅と瓢筆のお飾り



門徒会長からのご挨拶



御鉢米料確認する眞吾会長
(と見守る輝雄前々会長)



お蔭様です...竹藪清掃



美味！婦人会の精進ちらし寿司



住職お取り次ぎのご縁に

== コラム 「彼岸とはどのような意味ですか？」 ==

彼岸とは、サンスクリット語の「パーラミター」の訳語である「到彼岸」に由来するといわれています。この「パーラミター」という語は、漢字では「波羅蜜（多）」と書きます。それはすべてのものの真実を見極める智慧を身につけることです。この智慧によって、仏教ではこの世界（此岸）からさとりの世界（彼岸）へ到達することを説きます。

しかし、私たちは欲望や怒りなどによって苦しみ悩み傷つけあうため、さとりの世界に到達するための智慧を身につけることは容易ではありません。

このような私たちを、阿弥陀如来はすでに見通され、私たちのために、さとりの世界である「浄土」を建立されました。そして智慧と慈悲のすべてを「南無阿弥陀仏」に込めて与えられ、この念仏一つで浄土へと導いてくださっています。浄土真宗では、彼岸とは阿弥陀如来の教えをいただいたものが生まれてゆく、さとりの世界である「浄土」のことです。

春・秋のお彼岸のときには、お寺で行われる法座や法要にお参りいただき、阿弥陀如来のおこころを聴聞してまいりましょう。

前田壽雄師

昭和49年北海道生まれ。浄土真宗本願寺派専念寺衆徒。武蔵野大学仏教文化研究所研究員、通信教育部人間科学部人間科学科准教授。浄土真宗本願寺派東京仏教学院研究科講師。著書に『書いて味わう讃仏偈 重誓偈』『教行信証のことばーやさしい法話ー』（本願寺出版社）がある。明行寺住職が神奈川県の上正寺でお勤めしていたご縁で出遇った恩師。

明行寺 ホームページアドレス
<https://www.myogyoji1620.com>

▼ 除夜会の様子 ▼



YouTube

Instagram